

I. 運用基準

1) 事前出荷情報(ASN)システムとは

パレット単位の商品明細とともに賞味期限について、あらかじめメーカーから卸店にデータを伝達しておくことで、入荷検品業務における現物確認/手入力を省き、業務効率化を実現するものであり、検品レス化によるトラックの待機時間削減に繋げるためのシステムである。

2) 主要な運用確認項目

実施にあたっては、事前に実施時期や範囲、当事者間の運用等をメーカー・卸店双方の協力の上、十分に協議し、合意形成する必要がある。

	項目	検討事項(例)
1	受発注	運用可能な発注リードタイムの確認
2	納品時間	納品の運用確認(早朝、朝一、等)
3	おろし方	軒先渡し(ドライバー付帯作業なし)+即時受領の運用確認
4	積み方	パレットへの複数アイテム混載の確認
5	パレット	パレット運用確認(回収方法等)
6	使用フォーマット	各種項目やコードの仕様確認
7	責任所在とルール	差異発生時の責任所在とルールの確認

3) 事前出荷情報(ASN)システムEDIの流れ



Ⅱ. 標準フォーマット（事前出荷情報（ASN）データ）

1) レコードの種類

- | | | |
|---|---|-----------|
| ① | ファイルヘッダーレコード | レコード区分「1」 |
| | 日食協第3版フォーマットのファイルヘッダーレコードフォーマットを利用する。
データ種別は「7A」、フォーマットバージョンは「1」とする。 | |
| ② | パレット情報レコード | レコード区分「2」 |
| | パレット番号やそのパレットに積載している商品アイテム数を設定するレコード。 | |
| ③ | パレット情報オプションレコード | レコード区分「3」 |
| | 帳合先や納品先の名称を設定するレコード。 | |
| ④ | 商品明細レコード | レコード区分「4」 |
| | 商品とその数量、管理日付を設定するレコード。 | |
| ⑤ | 商品明細オプションレコード | レコード区分「5」 |
| | 商品名称を設定するレコード。 | |
| ⑥ | エンドレコード | レコード区分「8」 |
| | ファイルの終了を表す。1ファイルに1件作成する。 | |

2) レコード作成イメージ

1 ファイル【メーカー単位】

1 ファイルヘッダーレコード

1 件目パレット出荷情報【パレット単位】

2	パレット情報レコード
3	パレット情報オプションレコード
3	パレット情報オプションレコード
3	パレット情報オプションレコード
4	商品明細レコード
5	商品明細オプションレコード
4	商品明細レコード
5	商品明細オプションレコード

2 件目パレット出荷情報【パレット単位】

2	パレット情報レコード
3	パレット情報オプションレコード
4	商品明細レコード
5	商品明細オプションレコード
4	商品明細レコード
5	商品明細オプションレコード

⋮

8 エンドレコード

次のファイル

1 ファイルヘッダーレコード

1 件目パレット出荷情報【パレット単位】

2	パレット情報レコード
3	パレット情報オプションレコード
3	パレット情報オプションレコード
4	商品明細レコード
5	商品明細オプションレコード
4	商品明細レコード
5	商品明細オプションレコード

2 件目パレット出荷情報【パレット単位】

2	パレット情報レコード
3	パレット情報オプションレコード

⋮

8 エンドレコード

3) フォーマット及び使用ガイド

データ種別	事前出荷情報(A S N)データ	レコード区分	1. ファイルヘッダーレコード
-------	------------------	--------	-----------------

条件欄 ◎: 必須 ○: 選択必須 △: 任意

No.	Content	条件	Col	Pic- ture	For- mat	Len- gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす '1' 固定
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	ファイルヘッダー単位に '0000001' より付番 (連番)
3	データ種別	◎	9	X(02)	CH	2	'7 A' 固定 (事前出荷情報(A S N))
4	データ作成日付	◎	11	X(06)	CH	6	提供企業がデータをファイルに入力した日付
5	データ作成時刻	△	17	X(06)	CH	6	提供企業がデータをファイルに入力した時刻
6	ファイルNo.	◎	23	X(02)	CH	2	同時送信時の複数ファイル区別のkey '01' よりスタート
7	データ処理日	◎	25	X(06)	CH	6	提供者のデータ処理日
8	利用者企業コード (受け手)	◎	31	X(12)	CH	12	データの宛先
9	データ送信元 センターコード	◎	43	X(06)	CH	6	データを提供する企業のコード及びセンターのコード
10	〃 (予備)	△	49	X(02)	CH	2	予備
11	最終送信先コード	◎	51	X(06)	CH	6	データを受け取る最終の企業コード
12	最終送信先 ステーションアドレス	◎	57	X(02)	CH	2	内容は任意
13	直接送信宛先企業コード	○	59	X(06)	CH	6	中継センターの企業コード
14	〃 (ステーションアドレス)	○	65	X(02)	CH	2	内容は任意
15	提供企業コード	◎	67	X(12)	CH	12	提供企業のコード
16	提供企業事業所コード	○	79	X(12)	CH	12	提供企業の取引発生事業所コード
17	提供企業名	◎	91	X(15)	CH	15	提供企業のカナ名
18	提供企業照会事業所名	○	106	X(10)	CH	10	提供企業事務所のカナ名
19	送信データ件数	△	116	9(06)	ZD	6	レコード件数 (ファイルヘッダー～エンドレコード迄) もしくは '000000'
20	レコードサイズ	◎	122	9(03)	ZD	3	'128' 固定
21	データ有無サイン	◎	125	X(01)	CH	1	△: 通常, 1: データ無し
22	フォーマットバージョン No.	◎	126	X(01)	CH	1	'1' 固定
23	余白		127	X(02)	CH	2	余白

1-3. データ種別

事前出荷情報(A S N)データを表す「7 A」固定。

データ種別	事前出荷情報(ASN)データ	レコード区分	2. パレット情報レコード
-------	----------------	--------	---------------

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No.	Content	条件	Col	Pic-ture	For-mat	Len-gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「2」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	パレット管理No.	○	9	X(29)	CH	29	当該パレットがファイル内でユニークになるNo. GRAI利用の場合、頭「0」(固定値)を除く GS1事業者コード(9/7桁)+資産タイプ(3/5桁) +チェックデジット(1桁) +シリアル番号(最大16桁)
4	荷主コード	△	38	X(13)	CH	13	出荷場所(荷主)を識別するコード
5	一次店コード	◎	51	X(12)	CH	12	帳合先を表すコード 統一取引先コードの設定がなければ、 プライベートコードを使用
6	二次店コード	◎	63	X(12)	CH	12	納品先を表すコード 統一取引先コードの設定がなければ、 プライベートコードを使用
7	三次店コード	△	75	X(12)	CH	12	統一取引先コードの設定がなければ、 プライベートコードを使用
8	納品予定日	◎	87	X(08)	CH	8	実際の商品を納品する予定日、 もしくは出荷日(YYYYMMDD)
9	便No.	◎	95	X(10)	CH	10	車両No.、納品配送便、他
10	総商品アイテム数	◎	105	9(03)	ZD	3	当該パレット積載の商品アイテム総数 共配時は、当該パレット積載の全メーカー分の商品 アイテム数
11	共配有無	◎	108	X(01)	CH	1	当該パレットの共配の有無 1：単独メーカー 2：複数メーカー
12	納入パレット総枚数	○	109	X(03)	CH	3	当該納品先に納入したパレット総枚数
13	パレット管理No. 区分	△	112	X(01)	CH	1	パレット管理No. のコード区分 1：GRAI 2：SSCC 9：プライベートコード
14	余白		113	X(16)	CH	16	

2-1. レコード区分

得意先情報レコードであることを認識する。固定で「2」をセットする。

2-2. データシリアルNo.

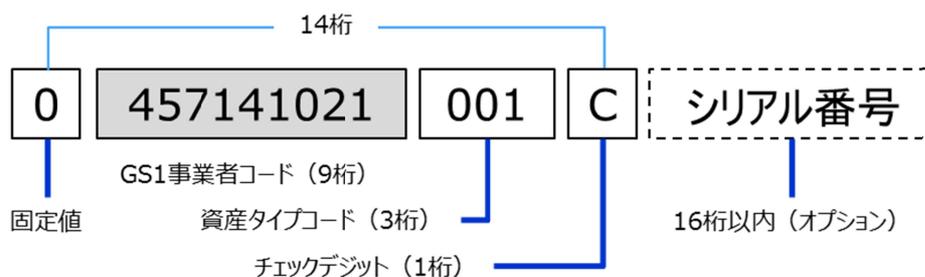
ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする。

2-3. パレット管理No.

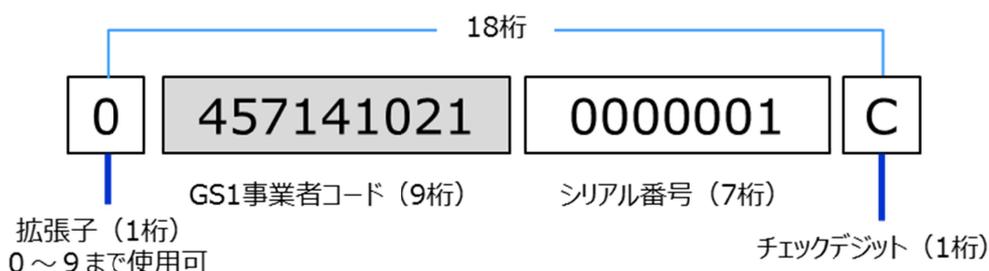
2-13. パレット管理No. 区分と合わせて、当該パレットの管理No. をセットする。

パレット管理No. がGRAIの場合、先頭の「0」を除いて、セットする。

- ・GRAI (Global Returnable Asset Identifier) とは、
パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナなどの、企業間で繰り返し利用する資産を管理するための識別コードである。GS1-128シンボルやEPCタグ(電子タグ)などによる利用が進んでおり、資産追跡、メンテナンス管理の向上などを実現する。



- ・SSCC (Serial Shipping Container Code) とは、物流・出荷などの輸送用梱包単位の識別コードで、欧米を中心に利用が進められてきた。日本でも、GS1-128シンボル、電子タグによる利用が始まっている。



- 2-4. 荷主コード
出荷場所（荷主）を識別するコードをセットする。
- 2-5. 一次店コード
帳合先を識別するコードをセットする。
- 2-6. 二次店コード
納品先を識別するコードをセットする。
- 2-7. 三次店コード
帳合先、納品先以外を識別する場合、必要に応じてセットする。
- 2-8. 納品予定日
商品を納品する予定日、もしくは出荷日をYYYYMMDDの形式でセットする。
- 2-9. 便No.
車両No.、納品配送便他、双方で取り決めた値をセットする。
- 2-10. 総商品アイテム数
当該パレットに積載している商品のアイテム総数をセットする。
共配時、複数メーカーの商品を当該パレットに積載している場合、それも含めてカウントする。
- 2-11. 共配有無
当該パレットに積載している商品が1メーカー分であるか否かを選択する。
1：単独メーカー 2：複数メーカー
- 2-12. 納入パレット総枚数
当該納品先に納入したパレットの総枚数をセットする。

2-13. パレット管理No. 区分

当該パレットの管理No. のコード区分を選択する。

1 : GRAI 2 : SSCC 9 : プライベートコード

データ種別	事前出荷情報(ASN)データ	レコード区分	3. パレット情報オプションレコード
-------	----------------	--------	--------------------

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No.	Content	条件	Col	Pic-ture	For-mat	Len-gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「3」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	社名・店名・取引先名	◎	9	X(40)	CH	40	社名、店名、取引先名、納品先名 カナ40文字、漢字20文字
4	社名・店名・取引先名 (予備)	△	49	X(60)	CH	60	社名、店名、取引先名、納品先名の予備欄 カナ60文字、漢字30文字
5	パレット情報参照No.	○	109	X(01)	CH	1	2. パレット情報レコード/No. 5~7に対応 △：荷主 1：一次店 2：二次店 3：三次店
6	日本語区分	◎	110	X(01)	CH	1	△：カナ表現 1：漢字表現
7	パレット種別	△	111	X(01)	CH	1	1：8型 2：9型 3：11型 4：13型 9：その他
8	余白		112	X(17)	CH	17	

3-1. レコード区分

パレット情報オプションレコードであることを認識する。固定で「3」をセットする。

3-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする。

3-3. 社名・店名・取引先名

3-5. パレット情報参照No. に対応する社名・店名・取引先名をカナ40文字以内でセットする。漢字を使用する場合、20文字以内でセットする。

(漢字を使用する場合、J I S第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

3-4. 社名・店名・取引先名 (予備)

3-5. パレット情報参照No. に対応する社名・店名・取引先名を3-3. 社名・店名・取引先名と合わせて、カナ100文字以内(40文字+60文字)でセットする。同様に漢字を使用する場合、50文字以内(20文字+30文字)でセットする。

(漢字を使用する場合、J I S第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

3-5. パレット情報参照No.

3-3. 3-4. 社名・店名・取引先名に対応する相手先を選択する。

△：荷主 1：一次店 2：二次店 3：三次店

3-6. 日本語区分

3-3. 3-4. 社名・店名・取引先名がカナか漢字表現かを選択する。

△：カナ表現 1：漢字表現

3-7. パレット種別

当該パレットの種類を選択する。

1 : 8型 2 : 9型 3 : 11型 4 : 13型 9 : その他

データ種別	事前出荷情報(ASN)データ	レコード区分	4. 商品明細レコード
-------	----------------	--------	-------------

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No.	Content	条件	Col	Pic- ture	For- mat	Len- gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「4」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	伝票番号	◎	9	X(08)	CH	8	日食協「受発注システム」の伝票ヘッダーレコード /No. 4「伝票番号」 卸店の発注番号
4	伝票行No.	△	17	X(02)	CH	2	日食協「受発注システム」の明細行レコード/No. 3、9、15「伝票行No.」 卸店の発注行No. オフライン発注時、セット不要
5	発注区分	◎	19	X(01)	CH	1	1：オンライン 2：オフライン
6	納入日または引取日	◎	20	X(08)	CH	8	日食協「受発注システム」の伝票ヘッダーレコード /No. 11「納入日又は引取日」 納入指定日をYYYYMMDDでセットする 卸店の指定日付
7	商品コード (JANコード)	◎	28	X(13)	CH	13	単品JANコード
8	商品コード (メーカープライベートコード)	△	41	X(16)	CH	16	メーカーの単箱のプライベートコードまたはSDPコード
9	商品コード (卸プライベートコード)	△	57	X(16)	CH	16	卸店のプライベートコード オフライン発注時、セット不要
10	商品鮮度日付	◎	73	X(8)	CH	8	商品鮮度日付区分に従った日付をYYYYMMDDでセットする
11	入数	◎	81	9(05)	ZD	5	日食協「出荷案内システム」の明細行レコード(1) /No. 6「入数」にセットする入数 それぞれの単位に含まれる個数
12	単位	◎	86	X(01)	CH	1	日食協「出荷案内システム」の明細行レコード(1) /No. 8「単位」にセットする単位 数量単位を表す 1：ケース 2：ボール 3：バラ (個) 5：キログラム 7：グラム 8：ミリグラム 9：リットル
13	数量	◎	87	S9(07)	ZD	7	日食協「出荷案内システム」の明細行レコード(1) /No. 7「数量」にセットする数量 数量単位の倍数をセット。 No. 12「単位」が「1：ケース」の場合、ケース数
14	総バラ数量	◎	94	S9(10)	ZD	10	
15	メーカー出荷No.	◎	104	X(10)	CH	10	日食協「出荷案内システム」の伝票ヘッダーレコード /No. 6「出荷No.」にセットするNo.
16	集合包装用商品コード	△	114	X(14)	CH	14	単箱のコード ITFシンボルのNo.
17	商品鮮度日付区分	◎	128	X(01)	CH	1	1：製造日 2：賞味期限 3：消費期限 9：なし

4-1. レコード区分

商品明細レコードであることを認識する。固定で「4」をセットする。

- 4-2. データシリアルNo.
ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする。
- 4-3. 伝票番号
卸店の発注データの発注番号をセットする。
(受発注システムの「伝票ヘッダーレコード」No. 4/伝票番号)
- 4-4. 伝票行No.
卸店の発注データの伝票行No. をセットする。
4-5. 発注区分が「2:オフライン」の場合、セット不要。
(受発注システムの「明細行レコード」No. 3、9、15/伝票行No.)
- 4-5. 発注区分
卸店の発注がオンラインか否か、選択する。
1:オンライン 2:オフライン
- 4-6. 納入日または引取日
卸店の発注データの指定日付をYYYYMMDDの形式でセットする。
(受発注システムの「伝票ヘッダーレコード」No. 11/納入日又は引取日)
- 4-7. 商品コード (JANコード)
商品の単品のJANコードをセットする。
- 4-8. 商品コード (メーカープライベートコード)
メーカーの単箱 (ケース) のプライベートコードまたはSDPコードをセットする。
- 4-9. 商品コード (卸プライベートコード)
卸店のプライベートコードをセットする。
4-5. 発注区分が「2:オフライン」の場合、セット不要。
- 4-10. 商品鮮度日付
4-17. 商品鮮度日付区分に従って鮮度日付をYYYYMMDDの形式でセットする。
- 4-11. 入数
4-12. 単位に含まれる個数をセットする。
出荷案内システムの「明細行レコード (1)」No. 6/入数にセットする値。
- 4-12. 単位
数量単位を選択する。
出荷案内システムの「明細行レコード (1)」No. 8/単位にセットする値。
1:ケース 2:ボール 3:バラ (個) 5:キログラム 7:グラム 8:ミリグラム
9:リットル
- 4-13. 数量
数量単位の倍数をセットする。
出荷案内システムの「明細行レコード (1)」No. 7/数量にセットする値。
4-12. 単位が「1:ケース」の場合、ケース数。
- 4-14. 総バラ数量
バラ (単品) の総数をセットする。

- 4-15. メーカー出荷No.
出荷案内システムの「伝票ヘッダーレコード」No. 6 / 出荷No. にセットする値。
- 4-16. 集合包装用商品コード
単箱の商品コードをセットする。
ITFシンボルのNo.。
- 4-17. 商品鮮度日付区分
4-10. 商品鮮度日付にセットする日付の区分を選択する。
1 : 製造日 2 : 賞味期限 3 : 消費期限 9 : なし

データ種別	事前出荷情報(ASN)データ	レコード区分	5. 商品明細オプションレコード
-------	----------------	--------	------------------

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No.	Content	条件	Col	Pic- ture	For- mat	Len- gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「5」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	商品名	◎	9	X(50)	CH	50	商品名称 カナ50文字、漢字25文字
4	日本語区分	◎	59	X(01)	CH	1	△：カナ表現 1：漢字表現
5	製造ロット番号	△	60	X(10)	CH	10	
6	温度帯区分	△	70	X(01)	CH	1	1：常温 2：冷蔵 3：冷凍
7	余白		71	X(58)	CH	58	

5-1. レコード区分

商品明細オプションレコードであることを認識する。固定で「5」をセットする。

5-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする。

5-3. 商品名

商品名称をカナ50文字以内でセットする。漢字を使用する場合、25文字以内でセットする。
(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

5-4. 日本語区分

5-3. 商品名がカナか漢字表現かを選択する。

△：カナ表現 1：漢字表現

5-5. 製造ロット番号

製造した際のロット番号をセットする。

5-6. 温度帯区分

温度帯区分を選択する。

1：常温 2：冷蔵 3：冷凍

データ種別	事前出荷情報(ASN)データ	レコード区分	8. エンドレコード
-------	----------------	--------	------------

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No.	Content	条件	Col	Pic- ture	For- mat	Len- gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす‘8’固定
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	ファイルヘッダー単位に付番(連番)
3	レコード件数	◎	9	9(06)	CH	6	1つのファイル(ファイルヘッダー単位)に含まれるファイルヘッダーからエンドレコードまでを含んだレコード数
4	余白		15	X(114)	CH	114	

8-1. レコード区分

エンドレコードであることを認識する。固定で「8」をセットする。

8-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする